

総会

末尾の数字は開催月日

令和時代も工法P R

ミラクルソル協会

ガラス廃材再資源化工法のミラクルソル協会(原裕理事長)は、東京都千代田区のKKRホテル東京で第20回総会を開き、技術講習会・地域講習会や現場見学会・研修会の開催、官公庁やコンサルタントへの工法普及活動および設計支援協力などの2019年度事業計画を決めた。



冒頭、最高顧問の陣内孝雄元参院議員がいささつし、「有用なミラクルソル工法が、令和の時代に日本中に広まることを祈念する」と述べた。原理事長は「平成は平和・安定の時代であった反面、土砂災害などが多発した。地盤・地質は経年、脆弱(せいじやく)化していくものであり、令和の時代も土砂災害が起こり得ることを想定しなければならぬ。環境工法としてのミラクルソル工法を機会あるごとにP Rしていく」と語った。写真。

次いで、岡本敦国土交通省水管理・国土保全局砂防部保全課長による「最近の土砂災害の特徴と砂防事業における生産性の向上」と題した特別講演があったほか、原理事長が「ミラクルソル工法関連説明」を行った。総会後の懇親会では特別顧問の佐藤直良元国交省事務次官が祝辞を述べた。

(5・8)